

# 「平成27年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成28年 6月 8日

仕事の内容	給食費未納整理事業				
担当部署・課長名	給食	課	給食	係	課長名 齋藤 謙二郎

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 学校教育の充実

(総合計画書 31 ページ)

予算名	款	10	教育費	項	5	保健体育費	目	3	学校給食費	事業	②	学校給食センター運営費	
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。							① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	給食費を納入しない保護者							→ 小・中学校の給食費未納額					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]							② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
	支払い義務の生じている給食費の未納分について、食材料費の支払いに間に合うように速やかに納入してもらう。							→ 給食費の徴収率(率を上げること。)					
この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。							③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
	給食食材に係る費用は、学校給食法の定めにより保護者負担としている。定められた期限までに納入のない保護者に対しては、各学校から文書にて通知をした。それでも納入がない場合は、給食課から電話督促・夜間休日等訪問し徴収を行った。また、児童手当からの給食費の支払い、貧困世帯に対しては、準要保護申請等を案内した。							→ ・夜間休日等訪問徴収の回数 ・夜間休日等訪問徴収における徴収額					

指標の推移			単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度目標	平成29年度目標
	対象指標	①の数値	人	2,994,530	3,340,980			
	成果指標	②の数値	%	99.04	98.97			
	目 標	②の目標値				—	—	—
		目標値設定の考え方		毎年、未納額が増えている傾向にある。前年度の収納率を維持していきたい。				
活動指標	③の数値		44 362,380	29 253,280	15 307,680			

3 経費	事業費		円	679,193	661,965	667,373	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,233,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成26年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	679,193	661,965	667,373	
		特定財源	円	0	0	0	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	3.0	3.0	3.0	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
事業費+人件費		円	25,573,193	25,555,965	25,366,373		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	
	昭和42年に学校給食センター方式による給食開始から実施している。現年度給食費徴収率は、本来、学校にて対応すべきだが、学校事務が市正規職員から臨時職員に切り替わった時期より、給食課が全校分を一括して対応することとなった。学校給食における食材料費は、保護者負担の給食費で賄われているため、学校給食の質の向上、及び公平性確保の観点からも徴収率の向上を目指している。	
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	
ここ数年、本市では給食費の未納及び滞納者が増えている。景気動向の影響もあるのではないかとと思われる。		

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成27年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	未納者に対して、本市が訪問集金等を通じて収納努力をしていることが一定の評価を受けている。また、市民、学校等からは、公平性確保の観点から、より一層の取り組みが求められている。	

仕 事 の 内 容	給食費未納整理事業			
担当部署・課長名	給食	課	給食	係 課長名 齋藤 謙二郎

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)		
	取組みは無い	取組手法 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換 ⑦後援・場の提供 ⑧その他( )	
(2)平成28年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。			
7 課題	この仕事を振り返り、課題を記入してください。		
夜間及び休日に未納者宅を訪問して徴収を行っているが、オートロックのマンションが増えて、また、電話等は留守番電話となっており、直接保護者と話をすることができない世帯が増えている。			
8 今後の方向性	(1) 仕事の方向性(「7 課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など)		
	経済状況を理由に未納となっている世帯に対しては、各種減免制度を案内している。 納入意識の低い世帯に対しては、何回も訪問をして理解をしてもらう。 未納額が増えると、より給食費の納入が難しくなるため、なるべく未納額が大きくならないうちに(概ね2・3か月)こまめに督促・徴収の働きかけを行う。		
	(2) 上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的に記入してください。		
なかなか連絡がとれない世帯に対して、学校の協力を仰ぐ。 就学援助制度、生活保護等を行っている、他課との連携を更に深める。 計画的な訪問徴収を行う。			
(3) 改革・改善案による期待成果			
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成果	成果を向上させる。	経費	仕事の経費は維持する。